

ちどり

vol.53

AUGUST 2023



特集1 診療科のご紹介2023

特集2 就任のご挨拶



Contents

■ 院長挨拶 ■ 病院機能評価審査認定報告 ■ 当院の5類感染対応



病院の基本理念

「患者よし、職員よし、病院よし」

病院の運営方針

- ・ 病む人の人権を尊重し良心的な質の高い医療を提供します
- ・ 安全で心温まる医療を提供します
- ・ 臨床研究を推進し医学・医療の進歩に貢献します
- ・ 教育研修を通して人材育成に努めます
- ・ 新しい医療情報を発信し地域医療の発展に貢献します
- ・ 職員が一体となり健全な病院経営に努めます

令和5年度 新年度のご挨拶

院長 中根 博



3年間にわたって、新型コロナウイルス感染症に翻弄されてきましたが、昨年末の第8波が過ぎ去ったことを機に、ようやく政府もwithコロナに舵を切ることとなり、社会生活がコロナ前に少しずつ戻りつつあることを実感しています。当院の辞令交付式も、3年ぶりに約150名の新入職者、転入者、昇任者へ、一人ひとり直接証書を手渡すこととしました。決意に満ちたお顔を拝見することができてよかったと思っています。そして、希望に満ちて入ってきた職員が、心が折れることなく充実して働けることを願っています。

さて、昨年度は2つの目標を掲げていました。一つは、初めての病院機能評価受審です。1年半にわたるビッグプロジェクトでしたが、多くの職員に関わっていただき、無事認定を受けることができました。サーベイヤーからは、「病院全体で改善しようという意識が強く感じられた」と

いう講評をいただき、職員の意識の高さを改めて感じた次第です。

二つ目は医師の働き方改革です。当院は全職員A水準（年間超勤960時間以内）を目指しており、当直の夜勤体制化、医師事務作業補助者の増員、ITを用いた勤怠管理システムの導入を進めてきました。職員の意識も少しずつ変化してきているようですが、まだ、目に見える大きな変化は出ていません。今年度中に制度管理を高め、目標達成を目指していきます。

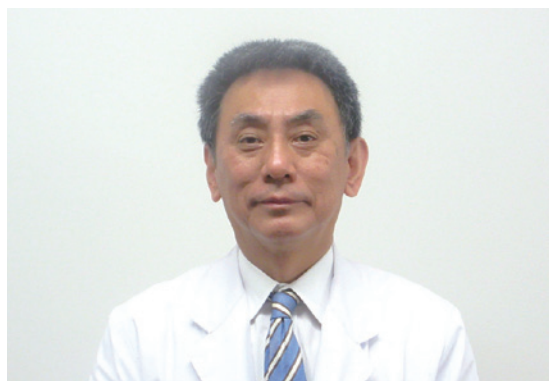
5月8日から新型コロナウイルス感染症は2類相当から5類に変更されます。これまで、その対応にさんざん頭を悩ませてきただけに、急には頭の切り替えができず、当面はおおむねこれまでの防疫体制を継続することになります。中国はドラスティックにコロナ対応を変更し、当初はパニック状態になっていましたが、その後は落ち着いてきているようですので、私たちも、移行期間を経た後は、状況を論理的に考えたいので、思い切った体制の変更が必要だと考えています。

これらの事業を円滑に進めるには、患者さん、地域の医療機関の協力が欠かせません。今後ともご支援、ご助言のほど、よろしくお願いいたします。

新任幹部のご挨拶

副院長就任のご挨拶

副院長 高田 昇平



1996年から当院にて呼吸器内科医として診療を続けて参りました。医師としてのほとんどの経験をこの地で得ており、診療を通して患者様をはじめ地域の皆様から育てて頂いたと改めて思い返しております。この度、中根院長より働き方改革推進を含む労務管理、院内の医療安全全般、新規新患外来予約システムの普及と充実を含む更なる地域連携などを副院長就任に当たり仰せ付けられました。当院の運営やこの地域における診療が軌道に乗って来たと感じる矢先ではありますが、働き方改革と診療機能の両立を行いながら、病院ひいては地域の診療機能を守ってゆくことが求め

られていると思っております。必ずしも容易い使命でなく、病院全体で知恵を絞って取り組むべき事案です。コロナ禍に続く難局を何とか乗り切って参りたいと考えております。どうか今後ともご指導やご支援を賜ります様よろしくお願い申し上げます。

統括診療部長就任のご挨拶

統括診療部長 大越 恵一郎



日頃よりたいへんお世話になっております。この度福岡東医療センターの統括診療部長を拝命いたしました消化器内科の大越と申します。一言ご挨拶をさせていただきます。

当院は過去3年間コロナ禍の影響で通常の医療体制を保つことが困難な時期もありましたが、それでも病院一丸となり

乗り越えてきました。これを書いているのは令和5年4月初旬なのですが、現在はコロナの感染状況も比較的落ち着いてきており、このまま暖かい春の日差しのように、以前のような本来あるべき状態に近づいていけたらと期待しています。

私に与えられた仕事の1つに救急プライマリケアカンファレンスや臨床腫瘍カンファレンスなどの研修会を、地域の医療関係の方々や救急隊の皆様とともに開催し、互いに交流し研鑽するということがあります。これまでコロナ禍では、大人数の集会などが制限され、WEB参加にしても、やや寂しい状態が続いていました。近々コロナも5類扱いになりますし、また以前のように対面でも研修会を開催できることを期待しています。テーマについても医師会の先生方や救急隊の方々からもご意見をいただき、ともに満足できるテーマで進められたらと考えています。今後ともご指導、ご協力をお願いします。

事務部長就任のご挨拶

事務部長 鎌田 哲也



今春の人事異動で沖縄から転任してまいりました事務部長の鎌田でございます。地域の医療機関の皆様におかれましては、日頃より福岡東医療センターの運営にご協力、ご支援をいただき厚く御礼を申し上げます。

当院は昨年、病院機能評価を受審しておりましたが、本年

3月10日付けで認定承認をいただくことができました。しかし、その中でさらに改善すべき項目も見つかっており、医師の働き方改革の推進といった大きな課題とともに今後も改善を進めていきたいと思っております。

今年度は国立病院機構本部より、内視鏡室、透析室の改修工事への投資承認が得られ着工予定となっております。しかし、国立病院機構が投資財源とする予定であった積立金のうち422億円を防衛費の財源に充てられることになり今後の投資計画には影響を及ぼすだろうと危惧しております。

新型コロナウイルスはひとまず落ち着きを見せており、今後大きな波の襲来がないことを祈るばかりですが、当面は一定数のコロナ専用病床の確保をしつつ病院運営をする必要があります。このような状況下ではありますが、当院が感染症指定医療機関、地域がん診療拠点病院、地域医療支援病院、三次救急医療機関として、さらに地域医療に貢献できるよう微力ながら取り組んでいきたいと思っております。

診療科のご紹介

Fukuokahigashi Medical Center

2023



1 脳神経内科

メンバー紹介

院長：中根 博
部長：黒田 淳哉
医長：立花 正輝（リハビリ科医長兼任）
神経内科医長：田中 恵理
医員：松岡 幹晃、芝原 友也、山中 圭

当科の特徴・取り扱い疾患

脳血管障害全般（脳梗塞・脳出血・一過性脳虚血発作）、めまい症、頭痛、痙攣発作、認知症、髄膜炎、その他の神経疾患（パーキンソン病、重症筋無力症、ほか）

入院診療実績（2022 年度）

脳血管障害関連 252 例（脳梗塞 188 例、脳出血 47 例など）
神経疾患 259 例（てんかん / 痙攣 55 例、めまい 39 例、パーキンソン病 22 例など）
※超急性期血栓溶解療法（t-PA 静注療法）4 例（2022 年実績）

地域の先生方へ

脳神経外科との綿密な協力のもと、脳血管障害をはじめさまざまな神経救急疾患に 24 時間 365 日対応いたします。
脳神経疾患が疑われる場合は、遠慮なくご連絡下さい。



2 腎臓内科

メンバー紹介

部長：黒木 裕介
医長：永江 洋
医員：原 祥子、堤 貴大

当科の特徴・取り扱い疾患

蛋白尿、慢性腎臓病、急性腎障害、ネフローゼ症候群、末期腎不全、電解質異常、シャントトラブル、血液浄化療法全般

入院診療実績（2022 年度）

入院件数：293 例、腎生検：28 例、透析導入：44 例（血液透析 37 名、腹膜透析 7 名）、手術件数（シャント手術など）：98 例、腎臓病相談外来：53 件（腎臓担当看護師による慢性腎臓病のご説明を行う外来です）

地域の先生方へ

タンパク尿、eGFR 低下などの検診異常から透析療法、急性腎障害、ネフローゼ症候群など重度腎疾患まで軽症・重症問わず対応します。



3 血液内科

メンバー紹介

臨床研究部長：黒岩 三佳
医 長：亀崎 健次郎
医 員：坂本 佳治

当科の特徴・取り扱い疾患

悪性リンパ腫・急性白血病・慢性骨髄性白血病・慢性リンパ性白血病・骨髄異形成症候群多発性骨髄腫・再生不良性貧血・特発性血小板減少性紫斑病など

診療実績（2022 年度）

外来のべ患者数：4,565 名
入院診療実績（2022 年度）入院のべ患者数：8,811 名（血液疾患上位 5 疾患は以下のとおり）① 非ホジキンリンパ腫 ②多発性骨髄腫 ③白血病 ④骨髄異形成症候群 ⑤ホジキンリンパ腫 1 日平均入院患者数 24.1 名 平均在院日数 23.8 日

地域の先生方へ

血液内科は今年度も 3 名体制で造血器疾患の診断・鑑別及び治療を行います。患者さんの状況に応じて、九州大学病院・関連施設と連携して対応しています。鉄剤を処方しても貧血が治らない、血小板減少、リンパ節が腫れている等ありましたら、ご紹介ください。



4 糖尿病・内分泌内科

メンバー紹介

部 長：野原 栄
医 長：堤 礼子
医 員：二宮 和輝

当科の特徴・取り扱い疾患

2 型糖尿病、1 型糖尿病、肥満症、甲状腺疾患（バセドウ病、橋本病、甲状腺腫瘍）その他の内分泌疾患（副腎、副甲状腺、下垂体）

診療実績（2022 年度）

糖尿病教育入院 99 人

地域の先生方へ

リブレプロにより詳細に血糖パターンを分析し、実行可能な食事療法、患者さんそれぞれに最適な薬物療法を考えます。初回指摘の患者さん、HbA1c 8% 以上で難渋している患者さん、ご遠慮なくご相談ください。



5 感染症内科

メンバー紹介

医 長：肥山 和俊 医 員：松尾 将人、井上 健

当科の特徴・取り扱い疾患

- ・一般感染症
- ・輸入感染症（海外渡航後に発熱、下痢等を呈した患者）
- ・不明熱

診療実績（2022 年度）

入院患者総数：278 人
呼吸器感染症：243 人（COVID-19：242、細菌性肺炎：1）、皮膚感染症：8 人（蜂窩織炎：8）、腎・泌尿器科感染症：8 人（腎盂腎炎：8）、骨・軟部組織感染症：3 人（腰部膿瘍：1、化膿性脊椎炎：1、下肢ガス壊疽：1）、婦人科感染症：1 人（子宮留膿 1）
その他感染症：4 人（敗血症：3、伝染性単核球症：1）、その他疾患：11 人

地域の先生方へ

当科は、さまざまな感染症に対応しています。輸入感染症や流行性ウイルス感染症（麻疹、風疹、ムンプス及び水痘）が疑われる場合は、隔離診察室で診察させて頂いております。
ご紹介の際には、事前に感染症内科医師までご一報頂きますようお願い申し上げます。



6 消化器・肝臓内科

メンバー紹介

診療統括部長：大越 恵一郎（脾）
部長・医長：中村 和彦（消）、田中 宗浩（消）、多田 靖哉（肝）、
松尾 享（脾）、高尾 信一郎（肝）、藤井 宏行（消）、高尾 信一郎（肝）
医 員：藤山 隆（脾）、黒川 美穂（肝）、平山 雅大（消）、
安部 周彦（消）、將口 佳久（消）、有吉 明日香（消）、
中村 由佳里（脾）、伊地知 嵩治（肝）、井口 祐希（消）、松本 龍弥（消）

当科の特徴・取り扱い疾患

食道・胃・大腸癌、総胆管結石、胆道癌、脾癌、脾炎、肝臓癌、肝硬変、肝炎、食道静脈瘤、炎症性腸疾患

診療実績（2022 年度）

上下部内視鏡検査 4705 件、上下部 ESD 105 件、ERCP 550 件、RFA 34 件、TACE 40 件、硬化療法 84 件

地域の先生方へ

各種消化管腫瘍の内視鏡治療や ERCP、肝臓癌の局所治療、炎症性腸疾患へのバイオなど特殊治療も行っております。



7 循環器科

メンバー紹介

部 長：小池 明広 医長：中村 洋文
医 員：古川 陽介、入江 圭、細谷 まるか、升井 志保
専修医：徐 理華

当科の特徴・取り扱い疾患

虚血性心疾患（急性心筋梗塞や狭心症）、不整脈、心臓弁膜症、心筋症、心不全、
成人先天性心疾患、肺高血圧症、動静脈疾患、血圧異常など

手術件数（2022 年度）

冠動脈カテーテルインターベンション：254 件（心筋梗塞例 62 件を含む）、
末梢血管カテーテルインターベンション：6 件
ペースメーカ植え込み術：43 件（リードレスペースメーカ 12 件を含む）
不整脈カテーテルアブレーション：61 件（うち心房細動 43 件）

地域の先生方へ

成人の循環器疾患は疑い例にかかわらず 24 時間 365 日、いつでも必ず診療させていただきますので、お気軽にご連絡ください。
心臓外科はありませんが、迅速な評価の上、必要に応じて九大病院をはじめとした近隣施設と連携して適切に対応致します。



8 呼吸器内科

メンバー紹介

副院長：高田 昇平
部 長：吉見 通洋
医 長：山下 崇史、中野 貴子
医 員：中富 啓太、今田 悠介、萩原 拓貴、木村 知代

当科の特徴・取り扱い疾患

肺癌・胸膜中皮腫はじめ悪性疾患、肺炎・結核など抗酸菌症・真菌症などの呼吸器感染症、間質性肺疾患はじめびまん性肺疾患、気管支喘息・慢性閉塞性肺疾患など閉塞性肺疾患、その他呼吸不全への急性期・慢性期呼吸管理など、呼吸器疾患全般に専門性を生かした診断、治療を行っております。

診療実績（2022 年度）

気管支鏡 240 例（ベッドサイド施行例は除く）
SAS 検査 58 件 CPAP 導入 22 件、肺癌内科的治療導入 104 例

地域の先生方へ

呼吸器疾患全般に専門性を生かした診断、治療ができる体制を整えご紹介をお待ちしております。



9

外科(消化管、肝胆膵、乳腺、血管外科)

メンバー紹介

部長：内山 秀昭 血管外科部長：松本 拓也
 乳腺外科医長：石田 真弓 肝胆膵外科医長：井口 友宏
 医員：谷口 大介、小斎 侑希子、佐々木 駿
 専攻医：上野 晃平

当科の特徴・取り扱い疾患

消化管疾患（食道、胃・十二指腸、小腸・大腸、ヘルニア）
 肝胆膵疾患（肝臓、胆嚢、膵臓）、乳腺疾患、血管疾患

診療実績（2022 年度）

消化管 380 件（食道：6 件 胃・十二指腸：49 件 小腸・大腸：217 件 ヘルニア：105 件）
 肝胆膵 240 件（肝臓：38 件 胆嚢・胆管：169 件 膵臓：24 件）
 乳腺 31 件 血管 191 件 その他 96 件
 全 938 件（内 腹腔鏡下手術：445 件）

地域の先生方へ

今年度は救急診療の強化を目指します。24 時間 365 日、急患対応致します。対応困難な症例がありましたらいつでもご相談ください。



10

整形外科

メンバー紹介

部長：中家 一寿 医長：福元 真一、松下 昌史、岡本 重敏
 医員：清水 大樹、木下 英士、加来 真一

当科の特徴・取り扱い疾患

下記手術を積極的に行って参りますので、よろしくお願い致します。

- 中家：肩関節断裂手術・手根管・手の外科・小児の骨折
- 福元：外反母趾・足の外科
- 松下：頸椎・胸椎・腰椎の除圧およびインスツルメンテーションを用いた後方・前方固定術
- 岡本：前十字靭帯再建術などのスポーツ障害・脛骨高位外反骨切り術などの関節温存手術・人工膝関節単顆置換術・
- 清水：人工膝関節全置換術・人工股関節置換術・足の外科
- 木下、加来：外傷全般

診療実績（2022 年度）

手術件数 約 820 件

地域の先生方へ

お陰様で令和 4 年度の整形外科の年間新患者数は 1,112 名、手術症例数は約 820 例です。
 整形外科領域では、悪性骨軟部腫瘍を除いて、それぞれ専門性を活かして広範な領域をカバーしています。
 近隣の先生方のご協力のもと、当センターの整形外科を益々充実させていきたいと存じます。



11

脳神経外科

メンバー紹介

部長：保田 宗紀
 医員：松田 浩大、埴本 僚太

当科の特徴・取り扱い疾患

脳腫瘍（原発性・転移性）、脳血管障害（脳出血・脳梗塞）、頭部外傷、
 水頭症、脊髄・脊髄疾患など

入院診療実績（2022 年度）

脳腫瘍摘出術（11 例） 内視鏡下脳内血腫除去（1 例） 頸動脈内膜剥離術（1 例）
 脳動脈瘤コイルリング（16 例） 急性期血行再建術（6 例） 頸動脈ステント留置術（6 例）
 STA-MCA バイパス術（1 例） 頭部外傷（37 例）

地域の先生方へ

種々の中枢神経疾患に対して脳神経内科と協力しながら 24 時間体制にて対応しています。超急性期治療に引き続き、必要があれば近隣の回復期病院あるいは療養施設へのスムーズな連携も構築されています。



12 呼吸器外科

メンバー紹介

部長：濱武 大輔

医師：岩中 剛、緑川 健介、西野 菜々子

当科の特徴・取り扱い疾患

肺・胸膜・気道・縦隔・胸郭・横隔膜まで心臓と食道を除く胸部領域の外科治療を担当しています。年間 300 例の胸部手術と、中でも 100 例を超える肺癌手術は胸腔鏡を用いた低侵襲治療を実践しています。肺癌や中皮腫、転移性肺腫瘍等の悪性疾患、肺良性腫瘍、炎症性肺疾患（結核や肺化膿症）、気胸、膿胸、縦隔腫瘍、気道疾患等何でも診ています。その他に甲状腺や副甲状腺腫瘍に対する手術も行っています。

地域の先生方へ

「よく診て・よく聞き・やさしく治す」を私たちの信念として親身な医療を心がけ、高度なスキルで最良の治療を提供できるよう努力して参ります。ご連絡いただければ迅速に対応いたしますので、何時でも、何でもご相談下さい！手術とチーム力には自信を持っています。



13 小児科

メンバー紹介

部長：李 守永 医長：増本 夏子

医員：松尾 光道、西間 大祐、黒川 麻里、山下 文也、
吉元 陽祐、石倉 稔也

専攻医：山下 もも

非常勤医師：中原 和恵

当科の特徴・取り扱い疾患

小児の感染症、成長障害、神経疾患・発達障害・てんかん、喘息・アトピー性皮膚炎・食物アレルギー、内分泌疾患、腎臓病、小児循環器、腎臓病、血液疾患など、急性疾患から慢性疾患まで幅広い範囲を扱います。重症心身障害児（者）の短期・長期入所をいずみ病棟で受け入れています。

地域の先生方へ

『決して断らない診療』を目指して、小児科一同努力してまいります。小児の 2 次救急患者は平日～日曜まで診療させていただきますので、遠慮なくご連絡ください（土日の夜間及び祝日は小児科医がオンコール対応となります）。専門外来として、神経・発達、アレルギー、腎臓病、内分泌を対応。血液、循環器、腎臓病、神経・発達は九州大学よりの専門医が週 1 回担当します。



14 歯科口腔外科

メンバー紹介

医長：吉田 将律

医員：田尻 祐大

歯科衛生士：3 名

当科の特徴・取り扱い疾患

科では口腔外科疾患全般の診療や開業医の先生方では困難な有病者の抜歯などの外科処置を行い、一般歯科治療は開業医の先生方に行っていただく、地域支援型の診療を行っています。対応に困っておられる口腔外科疾患や抗凝固薬内服中の患者様など外科処置を行う上で何か不安なことがありましたらご紹介をお願い致します（初診日に抜歯を含めた待機的手術は行っておりません。）。2021 年 10 月に日本口腔外科学会准研修施設に認定されました。取り扱い疾患は外科処置が必要な歯疾患、嚢胞、良性腫瘍、粘膜疾患、炎症、顎骨壊死、外傷、顎関節疾患です。重症症例や口腔癌症例については九州医療センター歯科口腔外科などへご紹介させていただいております。

診療実績（2022 年度）

2022 年度の初診外来患者数は 1222 名で、入院患者は 76 名でした。手術は外来局所麻酔下に抜歯や歯根端切除など小手術を行い、入院全身麻酔（34 例）下に顎骨嚢胞摘出や、骨吸収抑制薬関連顎骨壊死に対する腐骨除去術などを行いました。

地域の先生方へ

医科の先生方からのご紹介も積極的に受け入れておりますので、口の中のことでお悩みの患者様がおられましたらご紹介をお願い致します。



15 麻酔科

メンバー紹介

部長：白武 孝久

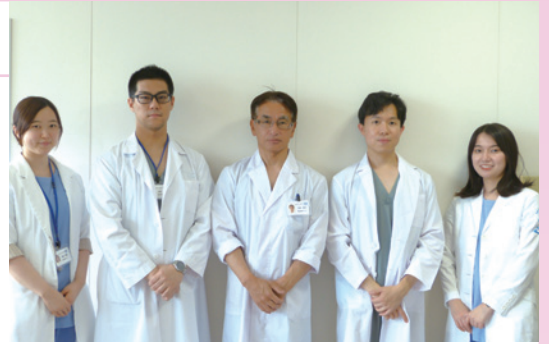
医員：中上 晴紀、石田 祐貴、奥村 瑠美、津崎 朝佳

診療科の特徴

- 硬膜外麻酔や脊髄くも膜下麻酔だけでなく、超音波装置を使用した各種神経ブロックにより術後痛軽減に努めております。
- 必要な症例では脳波モニターなど、最新の機器を使用してより安全な麻酔管理を提供します。
- 患者さんの立場になって麻酔方法等の計画を行い、より安全に快適に手術を受けて頂けるように日々努力をしております。

地域の先生方へ

当科は常勤5人と非常勤1人の5人体制を基本として毎日の麻酔管理業務を行っております。年々手術件数が増加する中、安全であり、かつ術後の痛みが少なくなるような麻酔管理を提供していきます。



16 皮膚科

メンバー紹介

医長：中村 美沙

医員：藤井 晴香

当科の特徴・取り扱い疾患

皮膚症状に関する診療全般を行い、外来、入院診療、手術を実施しております。湿疹皮膚炎、乾癬、皮膚感染症、薬疹、水疱症、褥瘡、皮膚良性・悪性腫瘍など。

診療実績（2022年度）

令和4年度の入院患者数は178名、手術室での手術症例数は93件、外来手術症例数は74件

地域の先生方へ

皮膚科は2人体制でマンパワーは少ないですが、協力して紹介患者数や手術件数を増やし、地域医療に貢献していきたいと思っております。何卒よろしくお願いいたします。



17 救急科

メンバー紹介

救命救急センター長：保田 宗紀（併） 副センター長：李 守永（併）

医長：平湯 恒久 医員：伊勢 将大

診療看護師：中光 淳一郎、前川 志帆

非常勤医師：吉田 智博、梶山 翼（久留米大学より）

当科の特徴・取り扱い疾患

救命救急センター（三次救急）としての重篤患者（心肺停止、多発外傷、心筋梗塞、重症脳卒中、重症呼吸不全など）の受入れのみならず、地域から求められる全ての救急搬送（二次救急）にも対応しています。

2022年救急搬送患者データ

救急搬送件数 3,690件 うち入院 2,189件（59.3%）

入院患者の内訳

内科系 1,372件（脳内 294件 消化器内 263件 呼吸器内 259件 感染症内 259件 循環器内 201件 他 96件）

外科系 530件（整形外 266件 脳外 83件 他 181件）小児科 88件、救急科 199件

地域の先生方へ

救命救急センターは救急科と全診療科との協力の下に運営され、夜間は当直医5人体制で、地域の皆様への救急医療を提供しております。



18 婦人科

メンバー紹介

部長：内田 聡子 医師：上杉 翔、田中 章子

当科の特徴・取り扱い疾患

不妊症（体外受精、顕微授精、人工授精を含む）、子宮内膜症、子宮筋腫、良性卵巣腫瘍、子宮ポリープ、月経トラブル（月経痛、月経不順、無月経、過多月経、月経前症候群）、思春期発来異常、更年期障害、異所性妊娠、卵巣腫瘍茎捻転など

診療実績（2022 年度）

腹腔鏡手術：38 件、子宮鏡手術：33 件、開腹手術：21 件、腔式手術：0 件、他 7 件
人工授精：154 周期（妊娠 11 例）、タイミング法：妊娠 26 例
体外受精：採卵 42 周期、新鮮胚移植 2 周期（妊娠 0 例）、凍結融解胚移植 115 周期（妊娠 16 例）

地域の先生方へ

2023 年度から医師 3 人体制に増員となり、緊急性の高い異所性妊娠や卵巣腫瘍茎捻転の受け入れがスムーズになります。日常生活を保ちながら外来中心の治療を行ったり、可能な限り身体への負担が小さくなるよう、外科治療の前に薬物療法を組み合わせたり、鏡視下手術を第一選択としたりすることによって、女性が生き生きと活躍できる一助になるようお願いしつつ、日々の診療を行っています。



19 臨床検査科

メンバー紹介

臨床検査科長：中島 学

当科の特徴・取り扱い疾患

各診療科から提出される検体の生化学・免疫検査、血液検査、細菌検査や患者さんを直接調べる生理機能検査を行っています。

診療実績（2022 年度）

生化学・免疫検査：1,627,862 件、血液検査：243,154 件、細菌検査、42,180 件
生理機能検査：37,954 件、新型コロナ抗原検査：6,714 件、新型コロナ遺伝子検査（院内実施分）：13,011 件

地域の先生方へ

確実な精度の高い検査情報の迅速な提供に努めています。



20 病理診断科

メンバー紹介

医 長：阿部 千恵

当科の特徴・取り扱い疾患

各科より提出される検体の病理組織診断・細胞診断を行っています。

診療実績（2022 年度）

病理組織診断 4601 例（術中迅速 123 例）、
細胞診断 1385 例（術中迅速 43 例）、病理解剖 8 例

地域の先生方へ

より良い治療のための一助となる診断を行うべく、臨床検査技師 3 名（うち細胞検査士 2 名）とともに励んでいます。



21 放射線科

メンバー紹介

診断：部長：井上 昭宏
医師：松浦 由布子、中村 勇星
治療：医 長：渡辺 哲雄

当科の特徴・取り扱い疾患

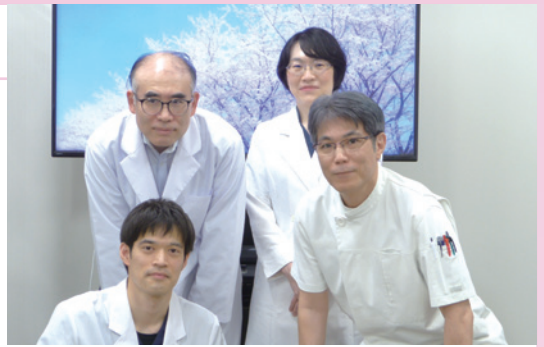
CT：3台（80列1台・64列2台（治療、救命センター）
MRI：2台（1.5T）SPECT：1台
血管造影装置：（パイプライン）1台、（心臓カテーテル装置）1台、その他：一般撮影装置など
リニアク治療装置：1台

診療実績（2022年度）

CT 18,761 MRI 5,929 核医学 833 血管造影（当科）39 治療 188件 など

地域の先生方へ

迅速で正確な診断、適切な放射線治療を心がけております。今後ともよろしくお願いいたします。



22 心療内科・緩和ケア内科

具体的な対象疾患

不眠、抑うつ症状、不安症状、せん妄、心身症（痛み・消化管症状など）、身体症状症など

2022年度診療実績

院内コンサルト 207件（外来46件、入院161件）
緩和ケアチーム依頼 72件、緩和ケアチームによる病棟緩和回診 19件

地域の先生方へ

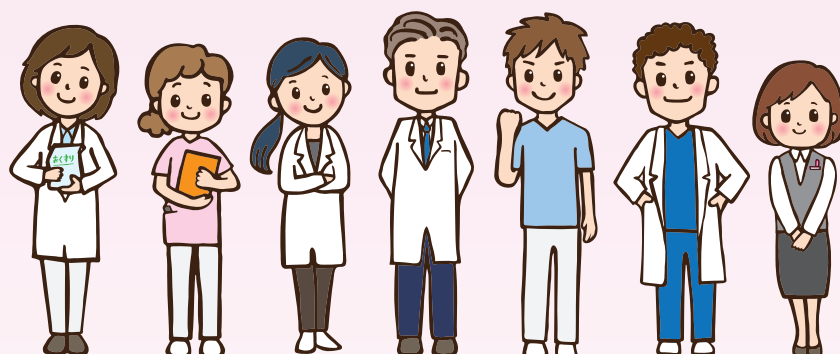
通院中・入院中の患者様に、心身両面からの医療を提供します。
当院の患者様が病気や日常生活のストレスにより不眠や身体症状をきたした際、診察や治療を行っています。また、緩和ケアチームの一員として活動しています。

緩和ケアチームメンバー紹介

身体担当医師：呼吸器内科 吉見 通洋
消化器内科 多田 靖哉
精神担当医師：心療内科 横山 寛明
がん緩和専門看護師：本田 輝子
薬剤師・リハビリ担当療法士・管理栄養士



今年度も地域医療機関と連携して、
患者さんの診療をおこなってまいります。
どうぞよろしくお願い致します。

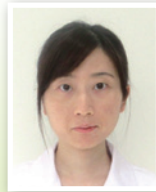


就任のご挨拶



肝胆膵外科医長 井口 友宏

4月より赴任してまいりました井口友宏と申します。肝胆膵外科領域を中心に一般外科まで幅広く対応します。地域の先生方、患者様のお役に立てるよう頑張りますのでよろしくお願い致します。



循環器科医師 升井 志保

患者さんに寄り添った診療に努めて参ります。よろしくお願い致します。



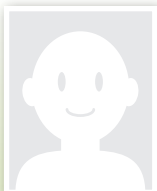
心療内科医長 横山 寛明

これまで主に大学病院、総合病院で心身症治療、糖尿病治療、緩和ケア医療などに携わってきました。地域の皆様のお役に立てるよう頑張ります。どうぞよろしくお願い致します。



呼吸器内科医師 中富 啓太

肺癌を中心に、呼吸器全般を診療します。よろしくお願い致します。



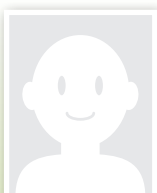
脳血管内科医師 山中 圭

今年度より赴任致します。脳血管内科の山中圭と申します。どうぞ宜しくお願い申し上げます。



外科医師 小齊 侑希子

地域の皆さまのお役に立てるよう、フットワーク軽くがんばります！



感染症内科医師 井上 健

この度、4月から赴任させて頂きました。当院は第一種感染症指定医療機関でもありますので、皆様のご期待に沿えますよう頑張りたいと思います。どうぞ宜しくお願いします。



外科医師 佐々木 駿

2023年4月より赴任しました外科の佐々木です。消化管外科を専門にしております。丁寧な診療を心がけたいと思いますのでどうぞよろしくお願い致します。



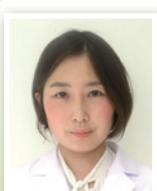
肝臓内科医師 黒川 美穂

4月より当院に赴任して参りました消化器内科の黒川と申します。専門は肝臓疾患です。どうぞよろしくお願い致します。



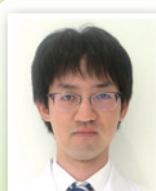
整形外科医師 木下 英士

一生懸命頑張ります。



肝臓内科医師 中村 由佳里

4月より当院に赴任いたしました。6年ぶりの勤務となりますが、お役にたてるように頑張ります。よろしくお願い致します。



脳神経外科医師 埴本 僚太

4月より当院に赴任して参りました脳神経外科の埴本僚太と申します。地域医療に貢献できるよう頑張ります。どうぞよろしくお願い致します。



消化器内科医師 平山 雅大

4月より当院に赴任して参りました消化器内科の平山雅大でございます。医師3年目にも赴任しておりましたが、今回 外来もやっておりますので、消化管に関しては気軽にご相談下さい。どうぞよろしくお願い致します。



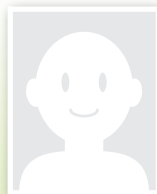
脳神経外科医師 松田 浩大

4月より当院に赴任して参りました。脳神経外科の松田浩大です。正確な診療と安全な治療を行ってまいります。どうぞよろしくお願い致します。



呼吸器外科医師 **緑川 健介**

4月より当院へ赴任してまいりました呼吸器外科の緑川でございます。8年前に2年間当院でお世話になり、再度お世話になることとなりました。患者様の力になれるよう頑張ります。よろしくお願いいたします。



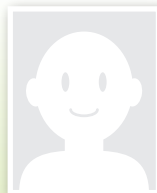
麻酔科医師 **津崎 朝佳**

4月より赴任して参りました津崎と申します。麻酔科医としてまだまだ未熟な点もあるかと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。



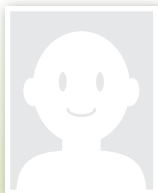
呼吸器外科医師 **西野 菜々子**

4月より赴任して参りました呼吸器外科の西野と申します。皆様のお役に立てるよう努めて参ります。よろしくお願いいたします。



麻酔科医師 **中上 晴紀**

安全で確実な麻酔を目指しがんばります。



小児科医師 **石倉 稔也**

4月より赴任して参りました小児科の石倉です。専門はアレルギー疾患です。子供たちの笑顔のために頑張ります。どうぞよろしくお願いいたします。



皮膚科医師 **藤井 晴香**

4月より赴任しました皮膚科の藤井です。地域の医療に貢献できるよう精一杯頑張ります。よろしくお願いいたします。



小児科医師 **吉元 陽祐**

4月より当院に赴任して参りました小児科の吉元でございます。専門は小児アレルギーです。どうぞよろしくお願いいたします。



婦人科医師 **上杉 翔**

2023年4月より当院に赴任して参りました婦人科の上杉 翔と申します。患者さんに寄り添った診療を心がけています。どうぞよろしくお願いいたします。



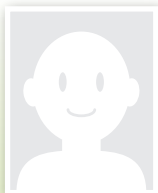
小児科医師 **松尾 光通**

4月より当院に赴任して参りました小児科の松尾光通と申します。専門は小児内分泌です。子どもの体形や成長が気になる時はぜひご相談ください。



婦人科医師 **田中 章子**

4月より当院に赴任して参りました婦人科の田中章子です。専門は生殖内分泌です。患者様とのコミュニケーションを大切に診療を行って参ります。どうぞよろしくお願いいたします。



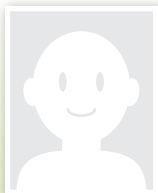
麻酔科医師 **石田 祐貴**

4月より当院に赴任した麻酔科の石田です。安心、安全な麻酔を心がけていきます。よろしくお願いいたします。



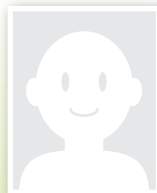
病理診断科医師 **阿部 千恵**

4月より当院に赴任いたしました病理診断科の阿部です。皆様のお役に立てるよう努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



麻酔科医師 **奥村 瑠美**

4月より当院に赴任して参りました麻酔科の奥村でございます。半年間よろしくお願いいたします。



放射線科医師 **中村 勇星**

4月より当院に赴任して参りました放射線科の中村と申します。よろしくお願いいたします。

就任のご挨拶



外科専攻医 **上野 晃平**

4月より当院に赴任して参りました外科の上野晃平でございます。丁寧な診療を心がけております。どうぞよろしくお願い致します。



呼吸器内科専攻医 **木村 知代**

精一杯がんばります。よろしくお願い致します。



整形外科専攻医 **加来 真一**

整形外科1年目で慣れないことばかりですが、フットワーク軽く働きたいと思いますので何卒よろしくお願い致します。



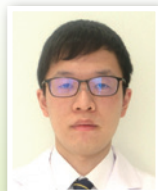
循環器科専攻医 **徐 理華**

本年度より循環器科に勤務させていただきます、徐理華（そりふぁ）と申します。患者様の気持ちに寄り添い、少しでも安心して頂けるような診療を心掛けます。地域の皆様に貢献できるよう精一杯頑張りますので、何卒 宜しくお願い致します。



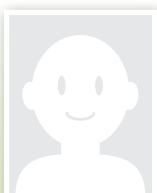
内科専攻医（糖尿） **二宮 和輝**

2023年4月より当院に赴任して参りました糖尿病内科の二宮と申します。地域の医療に少しでも貢献できるよう精一杯頑張りますのでよろしくお願い致します。



腎臓内科専攻医 **堤 貴大**

4月より当院に赴任して参りました腎臓内科の堤です。どうぞよろしくお願い致します。



消化器内科専攻医 **松本 龍弥**

4月より当院に赴任して参りました。消化器内科の松本龍弥と申します。よろしくお願い致します。



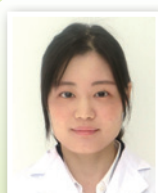
小児科専攻医 **山下 もも**

4月より当院に赴任して参りました小児科の山下です。どうぞ宜しくお願いいたします。



消化器内科専攻医 **伊地知 嵩治**

消化器内科、肝臓内科に所属しております、医師4年目の伊地知嵩治と申します。まだまだ未熟ですが、少しでもお役に立てるよう、努力してまいります。1年間よろしくお願い致します。



臨床研修医 **宮崎 万里奈**

4月に入職しました、研修医1年目の宮崎万里奈と申します。分からないことばかりですが、早く業務に慣れて、患者さんやご家族の方、病院のために一生懸命頑張りますので、どうぞよろしくお願い致します。



消化器内科専攻医 **井口 祐希**

4月より当院に赴任して参りました消化器内科の井口（いのくち）祐希と申します。熊本大学を卒業後、済生会福岡総合病院で2年間初期研修を行いました。消化器疾患はもちろんですが、内科医としても成長できるよう精進いたします。どうぞよろしくお願い致します。



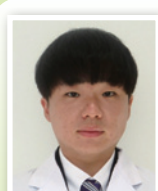
臨床研修医 **西村 勇哉**

4月から研修医をさせていただく西村勇哉と申します。まだ臨床の現場での経験がなく右も左も分からない状態ですが、積極的に学んでいくことで早く患者さんのお役に立てるよう頑張ります。よろしくお願い致します。



呼吸器内科専攻医 **萩原 拓貴**

4月から当院に赴任しました呼吸器内科の萩原です。地域に貢献できるよう精一杯頑張ります。よろしくお願い致します。



臨床研修医 **北原 皓輔**

初めまして。4月から2年間福岡東医療センターで研修させていただく熊本大学出身の北原皓輔と申します。早く皆さんのお役に立てるよう精一杯頑張ります。よろしくお願い致します。



臨床研修医 友清 慧太

4月より2年間初期研修医としてお世話になります。友清慧太と申します。わからないことばかりで至らぬ点も多いかと思いますが、一生懸命頑張りますので、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。



副看護部長 高尾 珠江

長崎医療センターから参りました、高尾です。患者さんへ丁寧に診療・看護が提供されている病院だと感じております。ご迷惑をおかけしますが「患者よし、職員よし、病院よし」で、役割を遂行したいと思います。よろしくお願いいたします。



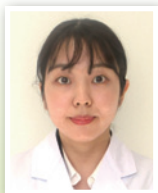
臨床研修医 芝原 佑夏

臨床研修医の芝原佑夏と申します。分からないことばかりで、ご迷惑をおかけすることがあると思います。1日でも早く信頼される医師になれるよう精進してまいります。よろしくお願いいたします。



看護師長 有川 法宏

この度、九州医療センターから感染症センターに着任いたしました有川法宏です。感染管理認定看護師の経験を活かし、病棟スタッフと安心安全な感染症看護を実践していきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。



臨床研修医 上野 桃

初めまして、初期研修医1年目の上野 桃と申します。金沢医科大学を卒業し、この4月から福岡東医療センターで1年間研修させていただきます。一生懸命頑張りますのでどうぞよろしくお願いいたします。



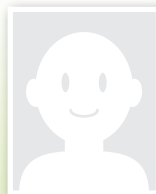
看護師長 鈴木 崇史

このたび、東京の災害医療センターより4階東病棟の呼吸器内科の病棟師長として異動してきました。新天地のため、右も左もわかりませんが、今までの経験を活かしていければと考えています。宜しくお願い致します。



臨床研修医 石野 太雅

初めまして、初期研修医1年目の石野太雅と申します。1年間福岡東医療センターで研修させていただきます。何事にも真摯に、謙虚に向き合い、医師としての礎を築けるよう精進して参ります。よろしくお願いいたします。



看護師長 小西 直大

4月より小倉医療センターより昇任で参りました。3階西病棟看護師長の小西直大と申します。不慣れなところが多く、ご迷惑をかけると思いますが、早く福岡東医療センターの一員となれるように一生懸命頑張ります。



臨床研修医 藤井 美多

はじめまして。初期研修医一年目の藤井美多と申します。久留米大学を卒業し、四月よりこちらで一年間研修させていただきます。至らぬ点も多いと思いますが、精一杯頑張ります。よろしくお願いいたします。



この度、2023年5月8日を以て、新型コロナウイルスが「5類感染症」に指定されました。これに伴い、当院においても感染対策について変更を行うこととしたので、以下のとおりお知らせいたします。

また、5類移行後は、基本的感染対策の考え方、医療提供体制及び公費支援、患者発生動向等の把握方法、ワクチン接種、などについて、様々な変更があります。

詳細は厚生労働省「新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行後の対応について」

<https://www.mhlw.go.jp/stf/corona5rui.htm>

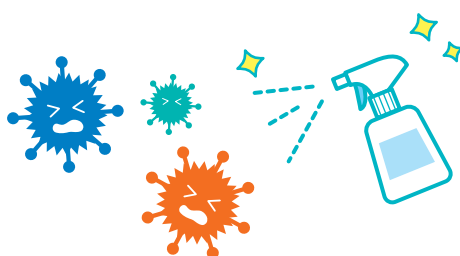
をご参照ください。



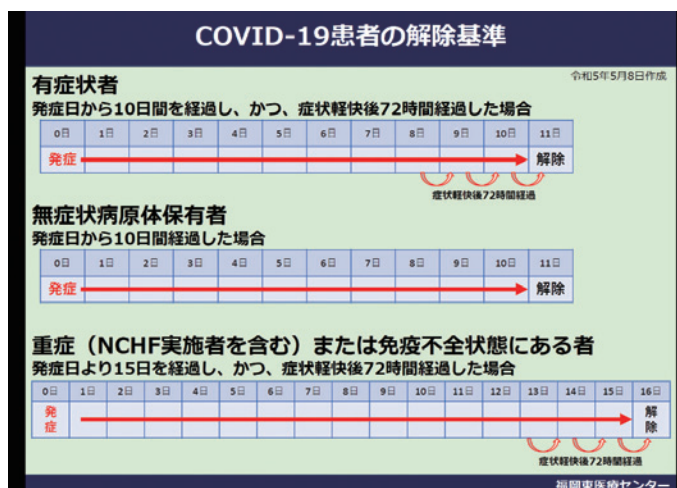
各種メディア等でも度々報じられていますが、5類に移行したからといって、病原性が弱くなったわけではありません。

当院としましては、今後とも必要な感染対策を徹底して行っていく所存です。

皆様のご理解とご協力の程、よろしくお願いいたします。



① 患者の解除基準について



② 関連検査指針について

COVID-19関連検査指針（R5.5.8～）

患者 職員		症状 ^{※1} や市中での接触状況などの有無 外来や入院の別など対象者の詳細な状況について		SARS-CoV-2関連検査		
				院内 抗原	院内 PCR	院外 PCR
患者	あり	外来	入院を要さない場合 ^{※2}	○	△	×
			入院・手術等を要する場合	△ ^{※3}	○	×
		入院	個室の場合	×	○	×
			大部室の場合	△ ^{※3}	○	×
	なし	症状や市中での接触がなく、積極的に疑わない場合	×	△ ^{※4}	×	
職員	症状や市中での接触状況に関わらず、体調不良者全般		×	○ ^{※5}	×	

※1 COVID-19を疑う症状

※2 「受け入れ患者を限定しない外来対応医療機関」での対応を含む

※3 個室での対応が難しい場合、PCR検査結果に時間を要する場合は、抗原検査を合わせて実施

※4 症状等はないが、入院時や術前のスクリーニング検査が必要と医師が判断した場合
または、流行期においてスクリーニングが必要と判断された場合（ICCにて）

※5 ICT等が検査必要と判断した場合

○：必須項目
△：原則実施しないが、状況により検査の必要性がある場合
×：原則実施しない（ICT判断で実施する場合あり）

R5年5月8日より、インフルエンザのスクリーニング検査は中止

福岡東医療センター

③ 防護服着用の基本的な考え方

個人防護具着用の基本的な考え方（R5.5.8～）

防護部位	頭部の防護	顔面粘膜の防護	衣類や上半身の防護	手指の防護	呼吸器の防護
防護具	キャップ	アイフェイスシールド	サージカルマスク	エプロン（袖なし）	カウチン（袖あり）
外来	一般	○	○		
	救急	○	○		
	発熱者	○	○	△※2	○
	感染症センター	○	○	△※2	○
入院	一般	○	○		
	COVID-19	○	○	△※2	○

○：必須項目 △：状況判断

※1 エアロゾル発生手技を実施する場合は着用
気管挿管・気管吸引、ネーザルハイフロー装着、NPPV装着、気管切開術、心肺蘇生術、
手術挿入、上部消化管内視鏡、気管支鏡検査、ネブライザー療法、誘発探検など
※2 濃厚な接触がないと予想される場合はエプロンを選択

福岡東医療センター

病院機能評価の認定

当院は病院の機能を第三者の立場で評価を行う、公益財団法人 日本医療機能評価機構の「病院機能評価 3rdG;Ver.2.0」の審査を受け、令和5年3月10日付で認定されました。

認定期間：令和5年3月10日～令和10年3月9日

審査の結果、以下の1項目で最高ランクのS評価を受けました。

看護 介護職 は病棟業務を適切に行っている。

今後も当院では、「患者よし、職員よし、病院よし」という基本理念に基づき、医療品質の向上に努め、努力してまいります。

病院機能評価は、組織全体の運営管理および提供される医療について、中立的、科学的・専門的な見地から評価を行う公益財団法人 日本医療機能評価機構が審査を行い、機構の定める一定の水準に達成した病院に対して認定されます。



日本医療機能評価機構 病院機能評価事業 病院機能評価とは <https://www.jq-hyoka.jcqhc.or.jp/about/summary/>

編集後記

2023年度の勤務医の最大の関心事は医師の働き方改革です。2024年4月1日から施行される改正医療法により、医師に対する時間外労働の上限規制が適用されます。私が所属する外科は時間外労働が最も多い診療科で、年960時間以内のA水準となるためには根本的な改革が必要と考えられました。

2023年4月から外科では交代勤務制、複数主治医制を導入し24時間365日必ず外科スタッフが病院に在住し外科系急患や入院患者の対応を行うことにしました。最初はうまくいかず不安でしたが、やってみると時間外勤務の短縮などいろいろな利点があることに気がきました。“医師自身が意識改革をする”、これが重要だと考えられました。 (内山記)

外来担当医一覧 令和5年8月1日現在 ※最新の担当医はホームページをご覧ください。https://fukuokaehosp.go.jp/

受付
時間

- 1) 午前8時30分から午前11時00分まで。 ※予約の方は、指定された時間においで下さい。
 2) 土・日・祝祭日・年末年始は休診です。当院は救急告示病院です。救急の方は、診療時間外でも受付いたします。

診療科			月	火	水	木	金
内科新患（別紙参照）			当番医	当番医	当番医	当番医	当番医
脳神経内科	新患	田中 恵理	松岡 幹晃	芝原 友也	田中 恵理	黒田 淳哉	
	再来(脳血管内科)	松岡 幹晃	中根 博・山中圭	黒田 淳哉	芝原 友也	立花 正輝	
	再来(神経内科)	-	田中 恵理	田中 恵理	九大医師	-	
糖尿病	新患	野原 栄	-	二宮 和輝	担当医	堤 礼子	
	再来	堤 礼子・二宮和輝	-	野原 栄・堤 礼子	二宮 和輝	野原 栄	
血液内科	新患	-	担当医	担当医	-	担当医	
	再来	亀崎 健次郎	亀崎 健次郎	黒岩 三佳	-	黒岩三佳・坂本佳治	
消化器科 (消化管・肝臓)	肝	高尾 信一郎	多田 靖哉	黒川 美穂	多田靖哉・高尾信一郎	-	
	脾 胆	藤山 隆	大越 恵一郎	松尾 享	中村 由佳里	大越 恵一郎	
	消化管	藤井 宏行	中村和彦・將口佳久	平山 雅大	田中 宗浩	安部 周吉	
腎臓内科	新患	原 祥子	黒木 裕介	黒木 裕介	荒瀬 北斗	岡本 悠史	
	再来	黒木 裕介	岡本 悠史	堤 貴大	黒木裕介・永江洋	荒瀬 北斗	
循環器科	第一診察室	小池 明広	小池 明広	小池 明広	小池 明広	徐 理華	
	第二診察室	細谷 まるか	入江 圭	古川 陽介	中村 洋文	升井 志保	
呼吸器科	新患	中野 貴子	中富 啓太	高田 昇平	吉見 通洋	山下 崇史	
		中富 啓太	高田 昇平	吉見 通洋	高田 昇平	吉見 通洋	
	再来	山下 崇史	山下 崇史	中野 貴子	今田 悠介	中富 啓太	
		木村 知代	萩原 拓貴	今田 悠介		中野 貴子	
感染症外来				肥山 和俊		肥山 和俊	
呼吸器外科			緑川 健介	濱武 大輔	西野 菜々子	岩中 剛	濱武 大輔
外科	消化器	内山 秀昭	休診（急患対応可）	井口 友宏	休診（急患対応可）	内山 秀昭	
		谷口 大介		佐々木 駿		小齊 侑希子	
	乳腺	内山 秀昭	休診（急患対応可）	休診（急患対応可）	石田 真弓	石田 真弓	
		血管	休診（急患対応可）	松本 拓也	松本 拓也	休診（急患対応可）	休診（急患対応可）
整形外科	新患	中家 一寿	福元 真一	(手術日) 外来休診	松下 昌史	(手術日) 外来休診	
		松下 昌史	木下 英士		清水 大樹		
		岡本 重敏					
	再来	福元 真一	清水 大樹		中家 一寿		
		加来 真一			岡本 重敏		木下 英士
脳神経外科	新患	保田 宗紀	保田宗紀・埜本僚太	(手術日)	保田 宗紀	松田 浩大	
	再来	保田宗紀・松田浩大	保田宗紀・松田浩大		保田宗紀・松田浩大	保田 宗紀	
皮膚科 (予約・紹介状をお持ちの方のみ)			中村 美沙	中村 美沙	中村 美沙	中村 美沙	中村 美沙
			藤井 晴香	藤井 晴香	藤井 晴香	藤井 晴香	藤井 晴香
小児科	午前	一般	中原和恵・西間大祐	増本夏子・松尾光通	中原和恵・松尾光通	李 守永・西間大祐	中原和恵・増本夏子
		専門(予約)	増本 夏子		李 守永	山下文也・黒川麻里	吉元(第1・3・5)石倉(第2・4)
	午後	専門(予約)	李 守永・中原和恵	水野勇司・松尾光通	李 守永・中原和恵	増本 夏子	李 守永・中原和恵
			山下 文也	西間大祐（第1・3・5）	循環器（長友雄作）	山下 文也	小児神経（藤井史彦）
			石倉稔也（第1・3・5）	血液（江口克秀）	腎臓(末松真弥) (第4以外)		アレルギー新患
			吉元陽祐（第2・4）	アレルギー（第2・4）		〈喘息検査〉	
放射線科	新患	月～金 渡辺 哲雄（※事前に必ず電話予約が必要です）					
	再来	渡辺 哲雄	渡辺 哲雄	渡辺 哲雄	渡辺 哲雄	渡辺 哲雄	
歯科口腔外科			吉田 将律	吉田 将律	吉田 将律	吉田 将律	（再来のみ）
			田尻 祐大	田尻 祐大	田尻 祐大	田尻 祐大	
婦人科	新患	内田 聡子	内田 聡子	内田 聡子	(手術日)	内田 聡子	
	再来	田中章子・上杉翔	田中章子・上杉翔	田中章子・上杉翔		田中章子・上杉翔	

- *小児科の入院依頼は、病院代表 092-943-2331 から
 入院依頼は入院担当医師（西間・黒川・松尾）へ、受診依頼は一般外来医師へ、
 夜間休日は小児科当直へご連絡ください。
- 物忘れ外来《特殊外来》完全予約制（内科外来 内247）【担当医 田中恵】
 『金曜日 9:00～10:00』
 ※予約受付は平日 月～金 13時～16時の間で TEL 予約
- 緩和ケア外来 完全予約制（担当看護師 内8184）【担当医】
 『火曜日・木曜日 午前中』

独立行政法人国立病院機構
福岡東医療センター

〒811-3195 福岡県古賀市千鳥1丁目1-1
 HP <https://fukuokaehosp.go.jp/>
 TEL 092-943-2331
 0120-212-454（地域医療連携室）
 FAX 0120-087-437